

○「地域の課題とこれからのあり方」

京都府南山城村 大河原地区連絡会議(平成30年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年3月6日
- 場 所: 南山城村役場 第1会議室
- 出席者: 農業委員7人、推進委員3人、事務局1人
- 報告者: 森嶋 徹 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 緩傾斜地の緑茶栽培と狭小な水田の水稲作が主流の中山間地域の農業。
- 大規模な緑茶と水稲を栽培する中核的な農家と小規模に水稲を栽培する兼業農家。どちらも担い手と後継者不足に悩む。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 地区により差はあるが総じて、高齢化した小規模農家が多く継続が難しい。
- 農作業受託で辛うじて稲作を継続しているが、優良農地でさえ遊休化しかねない。
- 獣害(猪、鹿、猿)が、耕作者の意欲を奪っている。
- 遊休化が年々拡大している。
- 草刈の対策としてヤギなどの動物の活用が出来ないか。
- 近隣地区からの入り作や外国人労働者に頼らなければならない状況下にある。
-

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援